

リーダーの育成（活動）目標及び目標達成に必要な能力を踏まえた学習項目の再整理結果

- 自主防災組織のリーダーの育成・確保上の課題を克服するため、リーダーに求められる条件及びリーダーの育成（活動）目標を設定し、目標達成に必要な能力（知識、スキル、心構え）を洗い出しの上、学習項目を再整理した。

作業プロセス

(1)リーダーの育成（活動）目標の設定

リーダーに求められる資質等からリーダーの条件及びリーダーの育成（活動）目標を設定。

(2)目標達成に必要な能力の洗い出しと学習項目の再整理

(1) で設定した育成（活動）目標毎に、目標達成に必要な能力（知識、スキル、心構え）を洗い出し。その上で、学習項目を再整理。

(3)カリキュラム骨子（案）の土台への反映

カリキュラム骨子（案）の土台（資料1参照）に上記の結果を反映し、カリキュラム骨子（案）を作成。

(1) リーダーの育成（活動）目標の設定

- リーダーに求められる資質等に関する本検討会での各委員のご意見、アンケート調査結果、先進事例調査結果、各種文献調査結果等を踏まえ、リーダーの条件及びリーダーの育成（活動）目標を、カリキュラム骨子（案）の土台の区分（大大項目）ごとに、以下のとおり整理。

NO	大大項目	リーダーの条件（10項目）	リーダーの育成（活動）目標（21項目）	リーダーに求められる資質等
1	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者や外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、地域で共に協力し合う必要があることを認識する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域には多様な住民が生活していることを理解し、尊重できること ➢ 地域づくりには、多様な人同士が支えあい、協力する必要があることを理解できること ➢ 地域の要配慮者が置かれている状況を把握し必要な支援ができること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で共に生きていくこと（共生）について理解している
		<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災活動を進めるうえで、いかなる状況であっても、差別的、反倫理的な言動を取らない 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ いかなる状況でも、他者を尊重し、差別的、反倫理的言動をとらないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ● 倫理的な行動・態度をとることができる
		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災力向上のために、自主防災活動を地域活動の一環として取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自主防災活動が、環境整備、防犯活動などと同様に地域活動の一環であることを理解できること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災の視点だけでなく、地域づくりといった視点で活動することができる
		<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーシップ（指導・統率力）を発揮し、構成員（メンバー）と協力して活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 組織の構成員（メンバー）に適切に役割を分担し、組織を牽引できること ➢ 組織の構成員（メンバー）と協力して活動できること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 率先して行動することができる ● 災害現場において、組織を適切に指導するとともに、周囲に声をかけて活動への協力を求めることができる ● 役割分担しながら活動を進めることができる

(1) リーダーの育成（活動）目標の設定（続き）

NO	大大項目	リーダーの条件（10項目）	リーダーの育成（活動）目標（21項目）	リーダーに求められる資質等
1	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性（地理的特性、人的・物的資源の状況など）に関する知識を持っている ● 多数の住民に自主防災活動に参画してもらえよう、日頃から積極的にコミュニケーションを図り、お互いに顔の見える関係を構築する ● 組織の取組を計画し、継続的に運営管理する ● 自主防災活動を活性化するため、地域で活動する各種団体等と相互に連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地理的特性などから地域の脆弱性を把握し、地域に被害をもたらす災害を具体的にイメージできること ➢ 地域に存在する人的・物的資源を活用できること ➢ 地域住民と交流する機会を設けることができること ➢ 積極的にコミュニケーションを図るために心がける必要性を理解していること ➢ 継続的に自主防災活動を実施するため、取組の計画化を行うことができること ➢ 多様な意見を取り入れ、組織の運営・管理できること ➢ 組織の活動を評価・改善できること ➢ 複数のリーダーが互いに協力し合いながら活動する組織を構築すること ➢ 長期的な視野に立って活動する必要があることを認識すること ➢ 地域に存在する各種団体や専門性を有する人材を把握し、互いに連携した取組を行うためのネットワークを構築できること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域特性に応じた災害発生メカニズムや被害について理解している ● 地域のことをよく知り、理解している ● 他人に声をかけ、活動に参加させることができる ● 地域の人達と顔の見える関係、信頼される関係を構築することができる ● 組織をマネジメントできる ● 多数意見を取りまとめ、少数意見を尊重することができる ● 自組織の活動を評価することができる ● 忍耐強く活動が継続できる ● 人と人とを結びつけ、調整することができる（コーディネーション）
2	災害予防	<ul style="list-style-type: none"> ● 平常時において、自主防災活動に関する計画を作成し、計画に沿った活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 平常時に取り組むべき活動の種類及び内容を理解し、実践できること ➢ 平常時の取組を計画的に実施できること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民が協働して活動するための環境整備（体制づくり、仕組みづくり、防災資機材等の整備、リーダー発掘・育成等）を行うことができる
3	災害応急対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時において、状況に応じて冷静かつ柔軟に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害時に実施する活動の種類及び内容を理解し、現場において実践できること ➢ 災害時の現場において、取るべき姿勢、行動などを理解し、実践できること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消火、救助、避難誘導、安否確認など命を守る活動を実施できる

(2) 目標達成に必要な能力の洗い出しと学習項目の再整理

- リーダーの育成（活動）目標を踏まえ、必要な能力（知識、スキル、心構え等）を洗い出し、それらをもとに学習項目を次のとおり整理した。

NO	大項目	リーダーの条件 (10項目)	リーダーの育成（活動）目標 (21項目)	能力（知識、スキル、心構え等）	学習項目
1	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者や外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、地域で共に協力し合う必要があることを認識する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域には多様な住民が生活していることを理解し、尊重できること ➢ 地域づくりには、多様な人同士が支えあい、協力する必要があることを理解できること ➢ 地域の要配慮者が置かれている状況を把握し必要な支援ができること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に暮らす住民等の多様性の尊重、地域共生社会の考え方、隣保共同の精神要配慮者の種類と特性等に関する知識 ・ 障がい者等の特性に応じたコミュニケーション、支援方法 	地域における多様性と共生社会
		<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災活動を進めるうえで、いかなる状況であっても、差別的、反倫理的な言動を取らない 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ いかなる状況でも、他者を尊重し、差別的、反倫理的言動をとらないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権、差別的、反倫理的言動の危険性、多様な価値観等に関する知識 ・ 差別や排除をしない、させないようにする 	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災力向上のために、自主防災活動を地域活動の一環として取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自主防災活動が、環境整備、防犯活動など同様に地域活動の一環であることを理解できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の問題（地域のつながり・結びつきの希薄化など）、地域づくり、地域防災の位置づけ等に関する知識 	地域づくりと防災
		<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーシップ（指導・統率力）を発揮し、構成員（メンバー）と協力して活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 組織の構成員（メンバー）に適切に役割を分担し、組織を牽引できること ➢ 組織の構成員（メンバー）と協力して活動できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の編成と役割、取り組むべき活動（平常時／災害時）、リーダーシップとは、リーダーと構成員の役割（平常時／災害時）等に関する知識 ・ 指導・統制のポイント ・ 組織をまとめようとする、組織を率いて目標を達成しようとする 	自主防災リーダーの役割

(2) 目標達成に必要な能力の洗い出しと学習項目の再整理 (続き 1)

NO	大項目	リーダーの条件 (10項目)	リーダーの育成(活動)目標 (21項目)	能力(知識、スキル、心構え等)	学習項目
1	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性(地理的特性、人的・物的資源の状況など)に関する知識を持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地理的特性などから地域の脆弱性を把握し、地域に被害をもたらす災害を具体的にイメージできること ➢ 地域に存在する人的・物的資源を活用できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性、各種災害の発生メカニズム、各種災害における被害と影響、調査方法(地域の災害危険調査)、地域資源の種類・特徴、被害抑止と被害軽減のための防災活動(平常時/災害時)に関する知識 ・ 地域資源の調査方法(人的・物的)、分析方法(防災マップの作成方法、統計分析等) 	<p>地域特性の理解(基礎)</p> <p>災害発生メカニズム(基礎)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ● 多数の住民に自主防災活動に参加してもらえよう、日頃から積極的にコミュニケーションを図り、お互いに顔の見える関係を構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域住民と交流する機会を設けることができること ➢ 積極的にコミュニケーションを図るために心がけるべきことを理解していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションのポイント、コミュニケーションの取り方(傾聴、会話、調整) ・ 地域の人間を知ろうとする、巻き込もうとする 	<p>住民とのコミュニケーションの図り方</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ● 組織の取組を計画し、継続的に運営管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 継続的に自主防災活動を実施するため、取組の計画化を行うことができること ➢ 多様な意見を取り入れ、組織の運営・管理できること ➢ 組織の活動を評価・改善できること ➢ 複数のリーダーが互いに協力し合いながら活動する組織を構築すること ➢ 長期的な視野に立って活動する必要があることを認識すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災活動、地区防災計画、多様な意見の存在、少数意見の尊重、組織づくり、組織運営に関する知識 ・ 活動(事業)を企画する方法、活動計画の作成方法、進行管理の方法、リーダーを複数人育成する方法、評価・改善方法 ・ 継続的に取り組み活動の質の向上を図ろうとする、多様な意見を取りまとめようとする、組織をまとめようとする 	<p>組織の運営管理</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災活動を活性化するため、地域で活動する各種団体等と相互に連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域に存在する各種団体や専門性を有する人材を把握し、互いに連携した取組を行うためのネットワークを構築できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にいる団体や人材、災害時に連携するための事前の取組事例に関する知識 ・ コミュニケーションの取り方、コーディネーションの仕方、ネットワークの作り方 ・ 地域に存在する組織や専門性を有する人材を発掘しようとする 	<p>地域の他の団体等との連携</p>

(2) 目標達成に必要な能力の洗い出しと学習項目の再整理 (続き 2)

NO	大大項目	リーダーの条件 (10項目)	リーダーの育成(活動)目標 (21項目)	能力(知識、スキル、心構え等)	学習項目
2	災害予防	<ul style="list-style-type: none"> ● 平常時において、自主防災活動に関する計画を作成し、計画に沿った活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 平常時に取り組むべき活動の種類及び内容を理解し、実践できること ➢ 平常時の取組を計画的に実施できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常時に取り組むべき活動の種類・取組内容、効果、平常時の効果的な取組、情報発信(広報)媒体の種類、特徴、留意点等に関する知識 ・ 訓練やイベントの企画・実施方法、情報発信(広報)の方法 	平常時の活動
3	災害応急対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時において、状況に応じて冷静かつ柔軟に対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害時に実施する活動の種類及び内容を理解し、現場において実践できること ➢ 災害時の現場において、取るべき姿勢、行動などを理解し、実践できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に取り組むべき活動の種類・取組内容、留意点、災害時の活動事例、教訓、災害時におけるリーダーのあり方等に関する知識 ・ 災害時の現場での安全確保の方法、リーダーがとるべき判断・意思決定の仕方 	災害時の活動

(3) カリキュラム骨子(案)の土台への反映

- (2) で再整理した「学習項目」と資料1で作成したカリキュラム骨子(案)の土台の学習項目(大・中項目)とを比較・分析し、カリキュラム骨子(案)の土台の大・中項目にあてはめるべき学習項目を追加し、カリキュラム骨子(案)を作成(下表のとおり)。

リーダーの育成(活動)目標を踏まえたカリキュラム骨子(案)

区分(大項目)	区分(大項目)	区分(中項目)	
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害／過去の災害事例／災害伝承(先人の教え)／今後発生しうる大規模災害
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性／各種災害の被害想定等
		防災のしくみ	我が国の災害対策／市区町村の災害対策
		災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり
		地域を理解する(※1)	地域における多様性と共生社会(※1)／地域づくりと防災(※1)
		地域の防災リーダーの役割	自主防災活動の必要性／地域の防災リーダーの役割／住民とのコミュニケーションの図り方(※2)／防災と男女共同参画
		自主防災組織概論	自主防災組織の役割・運営体制／地域の防災計画の立案と見直し／自主防災組織以外の地域防災を推進する主体／地域の他の団体等との連携(※3)／地区防災計画の策定
		災害ボランティアの役割	災害ボランティアの役割／ボランティアとして参加する際の心構え／ボランティアと受援力の強化
2	災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック／我が家の安全性チェック／我が家の耐震性チェック
		地域住民の防災活動の促進	住民の役割／レジャー中の災害
		災害発生に備えた体制の構築	情報収集・伝達のしくみづくり／避難所運営体制づくり／要配慮者支援体制づくり
		防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営／防災知識の普及・啓発
		防災資機材等の管理	防災資機材等の管理
3	災害応急対応	災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制／ボランティアコーディネーション
		発災直前の対応	気象予警報、避難勧告・指示等
		発災直後の対応	災害時にとるべき対応／情報収集・伝達方法／初期消火／応急手当の方法／救助方法／要援護者の安全確保(地域住民との協力)／安全な避難方法／帰宅困難者対策／サバイバル技術
4	災害復旧・復興	被災生活への対応	避難所運営／防犯秩序維持／環境衛生／心のケア、生活相談等
		施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応
		地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み／生活再建のための被災者支援

(注1) 赤字部分は、資料1のカリキュラム骨子の土台の作成過程で追加した項目

(注2) 青字部分は、本作業で追加した項目

考え方

- ※1 学習項目「地域における多様性と共生社会」及び学習項目「地域づくりと防災」は、自主防災組織のリーダーが地域で活動を行っていく上での基本的事項であり重要事項であるため、大項目「地域を理解する」を新たに設定し、その中項目に位置づけた。
- ※2 学習項目「住民とのコミュニケーションの図り方」は、リーダーの役割を果たすために必要なコミュニケーションの方法等を学ぶ項目であるため、大項目「地域の防災リーダーの役割」の中項目に位置づけた。
- ※3 学習項目「地域の他の団体等との連携」は、自主防災組織の活動を活性化するための具体的方法について学ぶ項目であるため、大項目「自主防災組織概論」の中項目に位置づけた。